



2023年度後学期  
静岡大学市民開放授業

募集要項・授業内容（シラバス）



静岡大学  
Shizuoka University

# Contents

後学期スケジュール	2
<b>1 市民開放授業の概要</b>	3
市民開放授業とは 実施形態	
<b>2 受講までの流れ</b>	5
Step1 授業内容（シラバス）を手に入れる	
Step2 受講したい授業を決める	
Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する	
Step4 必要書類を提出する	
Step5 受講料を納入する	
Step6 受講証の確認、学務情報システムの利用申請をする 受付・お問い合わせ先	
<b>3 受講に際して</b>	7
情報ネットワーク（学務情報システム・無線LAN）	
通学方法	
大学からの連絡（休講・補講・教室変更）	
学生生活	
その他	
<b>4 よくある質問Q&amp;A</b>	10
受講手続きについて	
受講料について	
授業について	
その他	
<b>5 図書館の利用について</b>	12
資料案内	
開館時間	
休館日	
利用にあたって	
サービス内容	
お問い合わせ先	
<b>6 キャンパス案内図</b>	15
静岡キャンパス	
浜松キャンパス	
<b>7 市民開放授業科目一覧</b>	17
表の見方	
シラバスの見方	
科目一覧	
授業内容（シラバス）一覧	
払込取扱票記入例	33
受講申込書	35
注意事項	36

2023年度 後学期 スケジュール

2023年			2024年											
10月			11月			12月			1月			2月		
日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	日	後学期・後学期前半	1	金	後学期・後学期前半	1	月	後学期	1	月	元旦	1	木	後学期試験
2	月	試験期間	2	土	水4	2	土	試験期間	2	火	元日	2	金	後学期試験
3	火	試験期間	3	日	文化の日(大学祭)	3	日	試験期間	3	水		3	土	
4	水	試験期間	4	月	大学祭(静岡)	4	月	試験期間	4	木	対面授業なし	4	日	
5	木	試験期間	5	火	大学祭(静岡)	5	火	火2	5	金	対面授業なし	5	月	後学期試験
6	金	試験期間	6	水	金曜授業	6	水	水2	6	土		6	火	
7	土	試験期間	7	木	火5	7	木	木1	7	日		7	水	
8	日	試験期間	8	金	水5	8	金	金1	8	月	成人の日	8	木	
9	月	スポーツの日	9	土	木5	9	土	木8	9	火	月曜授業	9	金	
10	火		10	日	西キャンパスとも休講 対面授業等なし	10	日	水10	10	水	水12	10	土	
11	水		11	月	テクノフェスタ・大学祭(浜松)	11	月	月1	11	木	木11	11	日	建国記念の日
12	木		12	火	テクノフェスタ・大学祭(浜松)	12	火	火3	12	金	金11	12	月	
13	金		13	水	月4	13	水	水3	13	土		13	火	
14	土		14	木	後学期前半終了	14	木	木2	14	日		14	水	
15	日		15	金	後学期前半終了	15	金	金2	15	月	月11	15	土	
16	月		16	土	後学期前半終了	16	土	土1	16	火	火12	16	日	
17	火		17	日	金5	17	日		17	水	水13	17	月	
18	水	受験料払込期限	18	月	月1	18	月	月2	18	木	木12	18	火	
19	木		19	火	月5	19	火	火4	19	金	金12	19	水	
20	金		20	水	月5	20	水	水4	20	土		20	木	
21	土		21	日	火7	21	日	日1	21	月	月12	21	火	
22	日		22	月	水7	22	月	月3	22	火	火13	22	水	
23	月		23	火	試験期間	23	火	火3	23	水	水13	23	木	
24	火		24	水	勤労感謝の日	24	水		24	木	補講(静岡・浜松)	24	金	天皇誕生日
25	水		25	木	後学期前半終了	25	木	集中講義	25	金	木13	25	土	
26	木		26	金		26	金	集中講義	26	土	金13	26	日	
27	金		27	土	後学期前半終了	27	土	集中講義	27	日		27	月	
28	土		28	日	火8	28	日	冬季一斉休業	28	月		28	火	
29	日		29	月	水8	29	月		29	火	月13	29	水	
30	月		30	火	木7	30	火	試験期間	30	水	火14	30	木	
31	火		31	水	火4	31	水		31	木	水14	31	金	

●学期別の授業回数

通年	前学期	後学期	木	水	火	木	水	火	金
14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

市民開放授業受講生は期末試験に参加できませんが、教員の許可があれば参加することができます。  
 試験週に期末試験を実施する場合は、オンライン授業を含めて14回の開講となります。  
 一部の科目は「後学期前半」「後学期後半」に分かれていますので、注意してください。  
 「後学期後半」の試験期間及び受付期間は、別に設定していますので、注意してください。

☆ 学年暦  
 前学期 4月 1日～9月30日  
 後学期 10月 1日～3月31日



# 1 市民開放授業の概要

## 市民開放授業とは

### ■定義

静岡大学市民開放授業は、静岡大学の学生が受講している正規の科目の一部を一般市民の方に開放するもので、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、本学と地域社会の連携をより一層深めていくことを目的としたものです。

### ■特長

- ◇高等教育レベルの高度で体系的、先進的な内容を受講することができます。
- ◇大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としています。ただし、高等学校などの卒業証明書の提出は必要ありません。
- ◇大学の正規の授業科目を受講していただきますが、**単位の認定は行いません**。したがって、単位認定試験は行いません。また、**修了証明書等の発行も行いません**。

## 実施形態

### ■開放科目

- ◇19ページの「市民開放授業科目一覧」をご覧ください。

#### 注意

- ①市民開放授業科目一覧に掲載されていない科目は受講できません。
- ②夜間主コース、大学院は開放しません。

### ■開講期間・授業回数

後学期開講期間	2023年10月2日（月）～2024年2月5日（月） ※後学期（後半）は、2023年11月21日（火）～2024年2月5日（月）
---------	---

- ◇講義の回数はおおむね半期14回ですが、科目によって回数が異なる場合があります。
- ◇市民開放授業では単位認定をしませんので、単位認定試験などの時間は、講義回数に含まれません。
- ◇教員の都合により休講になる場合があります。
- ◇**授業実施日については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等がありますので、必ず後学期スケジュール（P2）を確認してください。**

## ■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 }	10:20 }	12:45 }	14:25 }	16:05 }
	10:10	11:50	14:15	15:55	17:35

## ■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

## ■募集人員

- ◇1科目につき若干名とします。
- ◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人員を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

## ■受講要件

- ◇本事業の趣旨を理解し、正規の学生と同等に取り組むことができる方であればどなたでも受講できます。学歴・資格は問いません。

## ■受講料

- ◇受講料は、市民開放授業科目一覧（P19）に記載されていますので、ご確認ください。
- ◇休講分の受講料は返金いたしません。

## ■テキスト

- ◇授業で使用する教科書等は、担当教員の指示に従って、受講生ご自身でご用意ください。教科書については生協書籍部で取り扱っていますので、市民開放授業の受講生である旨を伝え購入してください。
- ◇テキスト以外に講義資料をあらかじめ印刷しておくことが必要となる科目もあります（P7参照）。  
※学務情報システムからダウンロードする資料は図書館のパソコンから印刷することができます（印刷代が必要です）。

## 2 受講までの流れ

### Step1 授業内容（シラバス）を手に入れる

◇授業内容（シラバス）の入手方法は以下のとおりです。

- ①葉書・電話・FAX・メールでの請求…市民開放授業担当までご連絡いただければ、折り返し必要書類をお送りします（連絡先は次ページ参照）。
- ②来学での請求…市民開放授業担当までお越しください（場所はP15のキャンパス案内図参照）。
- ③インターネットからダウンロード…静岡大学市民開放授業のウェブサイト（[https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class\\_list.html](https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class_list.html)）より、必要書類をダウンロードしてください。

### Step2 受講したい授業を決める

◇募集要項と授業内容（シラバス）をよく読んで、受講したい授業を決めてください。

### Step3 興味のある授業を試聴し、受講科目を確定する

◇試聴とは、受講生が受講科目を決定する際に、授業の概要を確認していただくために設定しているものです。期間中の初回に限り、開放する授業科目の講義は、自由に試聴できます。事前申込不要、途中入退室も可能です。試聴期間内に受講科目を確定し、受講申込書に科目番号・受講科目名・教員氏名を記入の上、担当教員から承認印を貰ってください（受講手続きについては、P10のよくある質問Q&A参照）。  
※正規の授業の1回目を、市民開放授業受講生向けの試聴期間に設定しています。

試聴期間 2023年10月2日（月）～10月6日（金）  
※後学期（後半）は、2023年11月21日（火）～12月4日（月）

- ◇承認印がないと受講できません。必ず受講料を振り込む前に印またはサインを貰ってください。
- ◇集中講義科目については、講義の試聴の代わりに前年度の授業動画をご覧いただけます。また、教員の承認はメールで申請を受け付けます。動画試聴・教員の承認の申請は、後学期（後半）試聴期間内に市民開放授業担当宛にメールにてご連絡ください（e-mail：kaiho@sumi.shizuoka.ac.jp）。

### Step4 必要書類を提出する [提出期限 10月16日（月）]

◇下記書類を市民開放授業担当へ郵送または直接提出してください（提出先、受付時間等は次ページ参照）。

- ①受講申込書（P35、担当教員の承認印が押印済みのもの）  
※6科目以上受講する場合は、受講申込書をコピーし記入してください。
- ②運転免許証、保険証等の氏名、現住所を確認できる書類の写し  
※受講申込書裏面（P36）にあらかじめ貼付のこと。

受講申込期間 2023年10月2日（月）～10月16日（月）※締切日必着  
※後学期（後半）は、2023年11月21日（火）～12月11日（月）

- ※集中講義科目については後学期（後半）の申込期間内に申込書を提出してください。
- ◇浜松キャンパスには受付窓口がありませんので、市民開放授業担当まで郵送してください。

## Step5 受講料を納入する [払込期限 10月18日 (水)]

◇郵便局で、「払込取扱票」により受講料を振り込んでください。払込取扱票は、この募集要項の末尾についています（記入例はP33）。

受講料払込期間 2023年10月2日（月）～10月18日（水）※払込期限厳守  
※後学期（後半）は、2023年11月21日（火）～12月13日（水）

※集中講義科目については後学期（後半）の払込期間内に振り込んでください。

◇現金での納入はできません。現金を直接お持ちいただいたり、書留等で送付いただいてもお預かりすることができませんのでご注意ください。

◇授業で使用するテキスト代や授業に必要な資料印刷費、その他の費用は受講生の負担となり、受講料とは別となります。

◇休講等により担当教員の承認印が遅れる場合など、特別な事情で期限までに納入できない場合は、必ず市民開放授業担当までその旨ご連絡ください。

## Step6 受講証の確認、学務情報システムの利用申請をする

◇入金確認後、受講証が送付されますので、手元に届き次第、確認してください。

◇受講証は、来学の際には必ず携帯してください。

◇申し込みされてから受講証が手元に届くまでの間は、担当教員に「受講証は発行手続き中である」旨を伝えて、受講してください。

◇受講する科目によっては学務情報システムを利用します（詳細はP7参照）。必要に応じて利用申請を行ってください。

## 受付・お問い合わせ先

### ■問い合わせ

地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）  
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00  
(10/2～10/16のみ 9:30～12:30、13:30～16:30)]  
e-mail : kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp  
(住所) 〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

### ■浜松キャンパスでの授業（休講・補講・教室・授業内容）に関する問い合わせ

[授業実施期間中のみ]  
浜松教務課共通教育係（S-Port 1階） ☎053-478-1006

※お問い合わせの前に、必ずP10～11の「よくある質問Q&A」をお読みください。

## 3 受講に際して

### 情報ネットワーク（学務情報システム・無線LAN）

#### ■学務情報システム(講義資料ダウンロード、課題提出等)

◇学務情報システムとは本学の学生がインターネット上で履修登録や成績参照をするためのもので、講義資料の配布や課題提出、アンケートなどもこのシステムを使って行います。授業によっては、担当教員から学務情報システムを利用して、授業の資料などを事前にダウンロードするよう指示される場合もあります。  
[URL] <https://gakujo.shizuoka.ac.jp/portal/>

◇学務情報システムの利用には静大IDおよびパスワードが必要となり、受講申込とは別にID発行の申請が必要です。申請は、静岡キャンパスでは市民開放授業担当（事務局別館2階）、浜松キャンパスでは浜松教務課共通教育係（S-port1階）で受け付けます。

※IDの発行まで一週間程度かかります。手続き中に限り、資料の印刷については前述の窓口で対応します。

※パソコンをお持ちでない方には、附属図書館に受講生も利用できるパソコンがあります（台数限定）。利用については附属図書館のカウンターにお申し込みください。ダウンロードした資料を印刷することもできます（有料）。

#### ■キャンパス内での無線LAN接続について

◇市民開放授業受講生は静大eduroam（エデュローム）ゲスト用アカウントによる接続設定をすることで、キャンパス内で無線LANをご利用いただけます。無線LANの利用を希望する場合は受講申込書の該当箇所に○をつけて提出してください。受講申込受付後に、接続に必要なゲスト用アカウントとパスワードを発行し、通知書を送付します。

※静大eduroamゲスト用アカウントは半期で失効します（前学期に申請した場合の有効期限は9月30日まで、後学期の場合は3月31日までとなります）。

※ご利用の端末の無線性能や無線アクセスポイントまでの距離等により電波強度の強弱が生じ、通信速度に影響が生じますのでご了承ください。

### 通学方法

#### ■自動車での通学

◇自動車での通学は、原則としてできません。本学教職員の駐車スペースも確保が難しい状況であり学内に十分な駐車スペースがないこと、学内の交通安全と教育・研究環境を確保する必要があることなどから、公共交通機関をご利用ください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承ください。

◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由がある場合のみ、駐車許可証を発行します。駐車許可証の申請には、医師の診断書又は身体障害者手帳の提示が必要です。

◇近隣の駐車場の紹介・斡旋は行っていません。

#### ■自転車・バイクでの通学

◇自転車・バイクでの通学は可能です。ただし、学内への乗り入れは禁止されていますので、必ず指定の駐輪場に置いてください。浜松キャンパスへ自転車、バイクで通学される方は、予め浜松学生支援課学生支援係窓口までご連絡ください（S-Port1階）。



◇ただし、身体に障害があるなど特別な理由で学内の移動が困難な場合には、駐車許可証（バイクのみ。自転車は不要）を発行していますので、市民開放授業担当までご相談ください。

### ■学割の利用

◇通学定期券、通学用割引回数券、学生専用バスカードの購入など学割の利用はできません。購入の際に必要な「学校学生生徒旅客運賃割引証」、「通学証明書」または「在学証明書」等の発行ができないためです。

## 大学からの連絡（休講・補講・教室変更）

来学の際は、必ず市民開放授業用の掲示板を確認してください。

### ■掲示板

- ◇休講、補講、教室変更の連絡を、各キャンパスにある市民開放授業用の掲示板に掲示します。場所は、静岡キャンパスは共通教育L棟掲示板、浜松キャンパスは教養教育掲示板です（P15～16参照）。
- ◇急な休講がある場合、上記掲示板での対応が間に合わない場合があります。静岡キャンパスでは共通教育B棟ピロティ電子掲示板に最新の休講情報が出ていますので、あわせてご確認ください（P15参照）。
- ◇現時点で教室が未定の授業は、教室決定後に掲示します。また、授業開始後も教室を変更することがありますので、必ず掲示板を確認するようにしてください。

### ■メールでのご連絡

- ◇大学からの連絡はメールで配信します。メールアドレスをお持ちの方は、必ず受講申込書に記入してください。過去にメールアドレスを記入していただいた方も、改めて記入するようにしてください。また、記入するメールアドレスは1つにしてください。
- ◇掲示板に掲示する内容の他、授業に関する連絡をメールで配信します（授業内容の補足、資料の準備の連絡等）。
- ◇携帯メールを記入される方は、大学からのメールが受信できるように設定をしてください（発信アドレス：[gakujo@adb.shizuoka.ac.jp](mailto:gakujo@adb.shizuoka.ac.jp)）。
- ◇メールアドレスの登録に時間がかかりますので、受講申込後約1週間はメール配信ができません。
- ◇電話による休講等の連絡は行っていません。
- ◇全ての休講連絡がメールで配信されるとは限りません。

### ■その他

- ◇自宅を出る前に天候不良等で授業が開講されるかどうか心配な場合は、教務課教務係（☎054-238-4327）へお問い合わせください。

## 学生生活

### ■図書館の利用

- ◇受講生は、図書館をご利用いただけます。市民開放授業の受講生には、受講証とは別に図書館利用票を発行します（受講申込から数日かかります）。特に手続きは不要です。各自、授業を受講するキャンパスの図書館に行き、カウンターで受講証等を提示し図書館利用票を受け取ってください（P12参照）。
- ◇利用方法は「図書館の利用について」（P12～14）を参照してください。
- ◇開館日・時間等は、図書館のホームページ（<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>）でもご案内しています。

静岡キャンパス：静岡大学附属図書館静岡本館 ☎054-238-4479  
 浜松キャンパス：静岡大学附属図書館浜松分館 ☎053-478-1391

### ■生協の利用

- ◇受講生は、大学内の売店、食堂、生協を利用することができます。ただし、生協については、書籍・テキスト、CDなど、一部商品に組合員の割引価格が設定されています。組合員価格での購入には、組合員証の提示が必要となり、組合員証の交付には出資金等の手続きが必要です。組合員でない方には、定価販売となります。詳しくは、下記の「静岡大学生協同組合」まで直接お問い合わせください。
- ◇フードショップ銀杏2階の休憩スペースも利用できます。

静岡大学生協同組合静岡キャンパス ☎054-237-2712  
 静岡大学生協同組合浜松キャンパス ☎053-473-4627

### ■一時保育施設の利用（静岡キャンパスのみ）

- ◇受講生は、本学構内にある多目的保育施設「たけのこ」を有料で利用することができます。生後8週間を経過した乳児から小学6年生までの児童の保育が可能です。授乳や搾乳ができるシャワー・トイレ・湯沸し室があります。
- ◇ご利用の際は、原則として利用希望日の3日前までに利用申込書（下記ウェブサイトからダウンロード可能）を男女共同参画推進室に持参・メール・FAXにて提出してください。その他、詳細については、下記の「静岡大学男女共同参画推進室」まで直接お問い合わせください。

静岡大学男女共同参画推進室（サッカー・ラグビー場隣）  
 ☎054-238-3052・4346 FAX：054-238-3160  
 e-mail：takenoko@adb.shizuoka.ac.jp  
<https://www.shizuoka.ac.jp/sankaku/itijihoku.html>

## その他

### ■受講生の義務・注意

- ◇受講生は授業を受講するにあたって、授業担当教員及び本学関係者の指示に従うとともに、私語を交わしたり、騒音を発したり、その他講義を妨害するような行為をしてはいけません。
- ◇授業中は携帯電話の電源をお切りください。
- ◇**授業中、録音・撮影をしてはいけません。**

### ■受講の停止

- ◇受講生が、本学の秩序を乱したり受講生としてふさわしくない行為があった場合は、受講停止とすることもあります。

### ■損害賠償

- ◇受講生が故意または不注意により本学の施設、設備等を破損したときは、速やかに届け出るとともに、自己の責任においてこれを原状に回復し、またはその損害を賠償しなければなりません。

### ■連絡先の変更

- ◇連絡先に変更があった場合は、市民開放授業担当までご連絡をお願いします。

### ■受講生の呼び出し

- ◇受講生の呼び出しには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

## 4 よくある質問 Q&A

### 受講手続きについて

Q1 受講資格は定められていますか？高等学校の卒業証明書などの提出は必要ですか？

(A) 大学の正規の授業科目を開放することから、大学での授業を理解するだけの学力を有していることを前提としていますが、特に受講資格は定めていません。また卒業証明書などの提出も必要ありません。本事業の趣旨をご理解いただき、正規の学生と同等に取り組むことができる方が受講してください。

Q2 希望する授業についていけるか心配です。具体的な難易度を教えてください。

(A) 難易度については、募集要項、授業内容（シラバス）に記載してありますのでそちらを参考にしてください。また試験期間中、開放する授業科目は自由に試験することができますので、期間内に各自でご判断ください。

Q3 受入可能人数が若干名となっていますが何名ですか？申込多数の場合の選考方法を教えてください。

(A) 受入人数や希望者多数の場合の選考方法については、担当教員に一任しておりますので、各授業によって異なります。希望する授業の担当教員に直接おたずねください。

Q4 試験するには事前の申し込みが必要ですか？

(A) 事前申込は不要です。開放する授業の科目は、自由に試験できます。また、試験期間中に限り、途中の入退室も可能です。

Q5 どうしても初回の授業に出席できません。承認印は貰えませんか？

(A) 試験期間内に受講した人が優先となりますが、授業によっては定員に達していない場合、承認されることもありますので、担当教員に直接事情を話して相談してください（2回目の授業の時、または授業内容（シラバス）に記入されているオフィスアワーを利用）。

Q6 初回の授業が休講でしたがどうしたらいいですか？書類の送付が申込期間内に間に合わないと受講できませんか？受講料は先に振込んだ方がいいですか？

(A) 初回の授業が休講の場合、次回の授業が1回目の授業になりますので、その時に承認印を貰ってください。その場合には手続きが遅れても構いません。受講料は、必ず承認印を貰ってからお振り込みください。ただし、書類の送付及び受講料の振り込みが遅れる場合は、必ず市民開放授業担当までその旨ご連絡ください（連絡先は下記参照）。

Q7 申込受付は郵送のみですか？

(A) 直接大学にお持ちいただいても結構です。受付場所は下記の通りです。なお、浜松キャンパスには受付窓口がありませんので、市民開放授業担当まで郵送してください。授業内容（シラバス）も下記の場所で配布しています。

静岡大学地域創造教育センター市民開放授業担当（静岡キャンパス事務局別館2階）  
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836  
☎054-238-4817 [平日9:30～12:30、13:30～16:00]  
(10/2～10/16のみ 9:30～12:30、13:30～16:30)

## 受講料について

Q8 受講料にテキスト代は含まれますか。

- (A) 含まれません。授業に必要な図書・テキスト・資料のコピー代等は受講生の負担となります。指定された教科書は、生協書籍部で販売していますので、各自で購入してください（P9参照）。また、学務情報システムからダウンロードする資料は各自で印刷してください（P7参照）。

Q9 銀行振込や現金書留での支払いが可能ですか？直接現金を大学に持参してもいいですか？

- (A) お支払い方法は郵便振込のみです。大学に現金をお持ちいただいてもお預かりすることはできません。

Q10 振込受領証やそのコピーは送付しなくていいのですか？

- (A) 受講料の振込みは大学側で確認できますので、受領証やそのコピーの送付は不要です。受領証は、控えとして各自で保管してください。

## 授業について

Q11 レポートや課題の提出、単位認定試験は受けなければいけませんか？受けてはいませんか？

- (A) 市民開放授業は単位の認定を行いませんので、原則としてレポートの提出やテスト、単位認定試験受験の必要はありません。ただ、これは提出、受験してはいけないということではありませんので、担当教員と相談、了承の上でしたら問題ありません。ただし、その場合も単位の取得はできません。

Q12 授業内容（シラバス）の内容と、実際の授業内容、進度が違うのはどうしてですか？休講になった回はすべて補講が行われますか？

- (A) 授業内容（シラバス）の内容はあくまで授業の予定や計画ですので、各担当教員の判断により、実際の授業とは内容や進度が異なる場合があります。また、講義の回数についても、おおむね半期（週1）14回となっていますが、これもあくまで目安ですので、各授業によって実際に開講される回数は異なります。休講や補講についても、各担当教員の判断となります。あらかじめご了承ください。

Q13 授業を休む場合は連絡が必要ですか？

- (A) 特に必要ありません。

Q14 台風等の場合は休講になりますか？

- (A) 大型の台風等の場合、大学全体で休講になることがあります。大学のホームページに掲載されることもあります。天候不良で開講されるか心配な場合は、教務課教務係（☎054-238-4327）へお問い合わせください。

## その他

Q15 授業終了後、受講証は返却しなければいけませんか？

- (A) 返却の必要はありません。



## 5 図書館の利用について

静岡大学附属図書館は、静岡キャンパスの静岡本館、浜松キャンパスの浜松分館から構成され、そこには数多くの学習書や専門書、学術雑誌が所蔵されています。受講する科目についてさらに学習するため、あるいは生涯学習のため、この機会にぜひ図書館をご利用ください。図書館のホームページ (<https://www.lib.shizuoka.ac.jp/>) でもサービス内容をご覧ください。

開館時間やサービス内容は変更になる可能性があります。最新情報は、図書館ホームページでご確認ください。

### 資料案内

- ◇静岡大学附属図書館では、静岡本館に91万冊の図書と16,000タイトルの雑誌、浜松分館に30万冊の図書と4,400タイトルの雑誌を所蔵しています。その他にも、視聴覚資料、特別コレクション、マイクロ資料等があります。
- ◇これらの資料は図書館の閲覧室、書庫内にありますが、研究室に備え付けられているものもあります。

### 開館時間

※詳細は、図書館ホームページの開館カレンダーでご確認ください。

- ◇平日…9:00～20:00（試験対応期間は9:00～21:00、夏休み等の休業期間中は9:00～17:00）
- ◇土曜…10:00～17:00（試験対応期間は9:00～21:00）
- ※試験対応期間については日曜・祝日も9:00～21:00で開館します

### 休館日

- ◇日曜・祝日（試験対応期間を除く）、年末年始、3月の土曜、大学入学試験日、蔵書点検期間、その他臨時休館日（館内掲示、図書館ホームページなどでお知らせします）

### 利用にあたって

#### ■図書館利用票

- ◇必ず図書館利用票をご持参ください。入館・退館時に必要です。また、図書の貸出、ネットワーク使用の手続きの際にも必要です。
- ◇図書館利用票は、静岡本館、浜松分館の両方で使うことができます。

#### ■図書館利用票の受取方法

- ◇図書館利用票は市民開放授業受講申込後に図書館で発行します。受講する授業が開講されるキャンパスの図書館カウンターで、受講証等（※）を提示し受け取ってください。なお、図書館利用票の発行は、受講申込から数日かかりますので、ご了承ください。

（※）受講証、身分証明書（氏名、現住所が確認できる書類）、受講申込書の写しのいずれか。

- ◇静岡・浜松の両キャンパスで授業を受講される方は、原則として静岡本館で発行します。浜松分館で受け取りたい方は、事前に静岡本館までご連絡ください（☎054-238-4479）。

## サービス内容

◇平日17:00以降および休日の開館時は、窓口のサービス内容が縮小されますのでご注意ください。

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
閲覧	館内3～5階の閲覧室にある図書・雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。	1～3階の開架図書・開架雑誌は自由に利用できます。利用後は元の位置に戻してください。
	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、サービスカウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～16:45です。土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。	書庫内資料を利用する場合は、学内所蔵検索（OPAC）で確認のうえ、「資料請求票」に記入し、カウンターに申し込んでください。書庫内資料の出納時間は平日9:00～12:30、13:30～17:00です。平日の夜間、土日祝日に来館して書庫内資料を利用されたい場合は、平日9:00～17:00に問い合わせ先へ連絡をお願いします。
	研究室備付となっている資料は利用できません。	
	図書館内配架資料であっても一部ご利用できないものがあります。	
貸出	4階・5階の開架図書および書庫内図書が対象となります。	1階・2階の開架図書、書庫内図書が対象となります。
	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してサービスカウンターで手続きをしてください。	貸出を希望する図書と図書館利用票を持参してカウンターで手続きをしてください。
	浜松分館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、浜松分館の開架図書および書庫内図書です。サービスカウンターに申し込んでください。	静岡本館所蔵の図書を取り寄せることができます。取り寄せのできる図書は、静岡本館の開架図書および書庫内図書です。カウンターに申し込んでください。
	貸出期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。サービスカウンターに申し込んでください。	貸出期間の延長（手続日よりさらに2週間貸出可能）は予約がない場合に限り、1度だけ可能です。カウンターに申し込んでください。
	参考図書（辞書・事典・統計類等）や雑誌の貸出はできません。	
	貸出冊数は3冊まで、貸出期間は2週間です。	
返却	サービスカウンターに返却してください。	カウンターに返却してください。
	図書館閉館時は、正面玄関右脇の返却ポストに入れてください。	図書館閉館時は、正面玄関横のブックポストに入れてください。
	返却期限日を過ぎると、遅れた日数分だけ貸出が停止されますのでご注意ください。	

事項	静岡キャンパス（静岡本館）	浜松キャンパス（浜松分館）
館内コピー機の利用	コピー機は4階閲覧室に2台設置していません（1台はプリペイドカード、1台はコイン式）。	コピー機は1階閲覧室に1台（コイン式）と2階S-Port東側エリアに1台（プリペイドカード式）を設置しています。
	料金は、白黒は1枚10円、カラーは1枚50円です（図書館では両替をしませんので、小銭をご用意ください）。	
	複写する時は、著作権法の定めに基づき以下のことに注意してください。 ①図書館所蔵資料のみが対象です（自分のノート、レポート等は不可）。 ②「複写申込書」に記入してから複写してください。 ③1人1部、資料の一部を複写できます。雑誌の最新号は複写できません。	
レファレンスサービス	レファレンスカウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。	カウンターでは、図書館の利用、資料の探し方などについての質問にお答えしています。
	対応時間は、平日9:00～12:30、13:30～17:00（休日は対応なし）です。	
	本学図書館を通じて、県内公共図書館からの図書の取り寄せができます。他大学からの取り寄せはできません。	
利用者用パソコン	ネットワーク利用のためのノートパソコンの貸出を行っています。利用の際はサービスカウンターに申し込んでください。	1階カウンターに利用者用パソコンが設置してあります。学術情報検索にのみ利用できます。
		ネットワーク利用の際は、平日9:00～17:00にカウンターに申し出てください（学内所蔵資料の検索については、各フロアに検索専用のパソコンがあります）。
注意事項	携帯電話での通話、私語はご遠慮ください。貴重品は常に携帯してください。他の利用者の迷惑になるような行為は慎んでください。閲覧室では水筒（中身は水またはお茶のみ）の使用ができます。	
	図書を亡失または汚損した場合は、弁償していただくことがあります。	

## お問い合わせ先

### ■静岡キャンパス

◇静岡大学附属図書館静岡本館 利用サービス係

☎054-238-4479 e-mail : lib-infsrv@adb.shizuoka.ac.jp

### ■浜松キャンパス

◇静岡大学附属図書館浜松分館 分館サービス係

☎053-478-1391 e-mail : libh-ill@adb.shizuoka.ac.jp

# 6 キャンパス案内図

## 静岡キャンパス





# 浜松キャンパス



# 7 市民開放授業科目一覧

## 表の見方

### ■No.

◇科目番号です。市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号で、授業内容（シラバス）の下端にある番号と一致しています。受講申込書や払込取扱票にはこの番号を記入します。

### ■学部等

◇授業を実施している学部等を指します。

### ■時間割

◇授業時間は、次のとおりです。

時限	1・2	3・4	5・6	7・8	9・10
時間	8:40 } 10:10	10:20 } 11:50	12:45 } 14:15	14:25 } 15:55	16:05 } 17:35

### ■教室名

◇静岡キャンパス

- ・共＝共通教育棟、教＝教育学部棟、理＝理学部棟の略です。
- ・アルファベットは、それぞれの棟を表します。たとえば、「共A201」は、共通教育A棟201教室のことを指します。

◇浜松キャンパス

- ・工1～8＝工学部1～8号館の略です。

※授業開始当初は、受講学生数等により教室を変更する場合がありますので、掲示に注意してください。

### ■受入可能人数

- ◇1科目につき若干名とします。
- ◇受講の可否については、教員の判断に委ねられますので、担当教員に確認してください（P10のよくある質問Q&A参照）。
- ◇正規の授業の一部を開放し、本学の学生と一緒に受講していただくため、本学の学生だけで講義室の収容人数を超える場合や、同じ科目に多数の応募があった場合には、受講できないことがあります。

## ■難易度

◇市民開放授業科目の難易度は、授業の内容に応じて、次の4段階に区分しています。ご自分の実力に適した授業をお選びください。

- (A) 入門的な内容で、高校卒業程度の学力を必要とします。〈大学1年次対象の授業に相当〉
- (B) より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となります。〈大学2～3年次対象の授業に相当〉
- (C) 高度な内容であり、当該専門分野について系統立った学習がなされていることを前提とするものです。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉
- (D) 専門的な知識が必要なため、受講登録にあたり担当教員と面談を行います。〈大学3～4年次対象の授業に相当〉

## シラバスの見方

### ■授業の目標、学習内容、授業計画

◇これらを参考に受講したい科目を探してください。

### ■受講要件

◇要件を満たしているかご確認ください。

### ■オフィスアワー

◇教員が学生の質問や相談を受けるために、特定の場所で待機する時間のことです。会議等、特別な用事がないかぎり、ここに記された場所・時間に教員と直接会うことができます。

### ■科目番号

◇市民開放授業で開放されている科目に割り振られた番号です。受講申込書や払込取扱票に記入する番号です。

科目一覧には2023年8月末時点の情報を掲載していますので、内容に変更がある可能性があります。最新情報は、静岡大学ウェブサイトでご覧いただけます。(https://www.lc.shizuoka.ac.jp/class\_list.html)

## 科目一覧

### 〔静岡キャンパス〕

#### 〈後学期〉

No.	学部等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・時限	教室名	受入可能人数	難易度	講習料
1	全学	生命科学	栗井 光一郎	後学期	月5・6	共C406	若干名	A	9,700円
2	全学	生物と環境	天野 豊己	後学期	火3・4	共A301	若干名	A	9,700円
3	全学	富士山学	徳岡 徹	後学期	火3・4	共A302	若干名	A	9,700円
4	全学	初修外国語(ドイツ語)Ⅱ	大藪 正彦	後学期	水5・6	共L201	若干名	A	9,700円
5	全学	生物学Ⅱ(基礎B)	栗井 光一郎	後学期	金1・2	共A301	若干名	A	9,700円
6	教育学部	書道研究(国語)	杉崎 哲子	後学期	火7・8	教A601	若干名	B	9,700円
7	教育学部	書道研究(B組)	杉崎 哲子	後学期	火1・2	教A601	若干名	B	9,700円
8	教育学部	書写研究(B組)	杉崎 哲子	後学期	火9・10	教A601	若干名	A	9,700円
9	理学部	植物生化学	天野 豊己	後学期	月3・4	理B212	若干名	C	9,700円
10	理学部	複素解析学Ⅰ	足立 真訓	後学期	水7・8	理B213	若干名	C	9,700円
11	理学部	生物学Ⅱ	徳元 俊伸	後学期	金1・2	理B202	若干名	A	9,700円
12	人文社会科学部	地域連携論	阿部 耕也	後学期	集中講義	-	若干名	A	9,700円

### 〔浜松キャンパス〕

#### 〈後学期〉

No.	学部等	授業科目名	(代表)担当教員名	学期	曜日・時限	教室名	受入可能人数	難易度	講習料
13	全学	ロックとアートからみるメンタルヘルス	太田 裕一	後学期	金3・4	工5-21	若干名	A	9,700円

A 入門的な内容であり、高校卒業程度の学力を必要とするもの(大学1年次対象の授業)

B より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの(大学2～3年次対象の授業)

C 高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの(大学3～4年次対象の授業)

※演習の難易度は「D」になります。

D 専門的な知識が必要なため、履修登録にあたり担当教員と面談を行う。(大学3～4年次対象の授業)



## 授業内容（シラバス）一覧

授業科目名	生命科学 (Life Science)				
担当教員名	栗井 光一郎 (AWAI Koichiro)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	総 713	
分担教員名	徳元 俊伸				
クラス	学部共通 2	学期	後期		必修選択区分 ー
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	月 5・6
キーワード	細胞の構造、生体分子、DNA、ゲノム編集、植物の光応答戦略、バイオレメディエーション、バイオ燃料				
授業の目標	学生は本講義を通じて、生物分野の基礎を学び理解する。特に最近話題となっているゲノム編集法について理解できるようになる。				
学習内容	主に生命の最小単位である細胞について、またそれをささえる分子、DNA に関して解説し遺伝子のはたらきを理解する。そしてゲノム編集により如何にして遺伝子の働きを変化させるのか、その技術面と変化させた場合の実例を紹介することでゲノム編集法について理解する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物の特徴 科学的探求 ダーウィンの進化論 生物の4つの特徴</li> <li>2. 生体分子の性質 核酸 DNAの構造 DNAの複製</li> <li>3. 生命の科学的基礎 セントラルドグマ 遺伝暗号 転写 翻訳</li> <li>4. 細胞の構造 細胞説 メンデル遺伝 染色体</li> <li>5. ゲノム編集法 ゲノム DNA 2本鎖切断 DNA修復</li> <li>6. コロナウイルス 感染の仕組み RNA ワクチン スパイクタンパク質</li> <li>7. 抗体 抗体分子の構造 免疫細胞 クローン選択仮説 (オンデマンド型授業)</li> <li>8. 試験 前半のまとめの試験を行います。</li> <li>9. 植物の光応答戦略① 光の波長 光発芽 もやし</li> <li>10. 植物の光応答戦略② 花成誘導 葉緑体定位運動 気孔開口</li> <li>11. 植物の栄養の取り込み 共生システムの利用 必須元素 3要素</li> <li>12. 植物が寒さに耐える仕組み 凍結耐性 両親媒性物質 脂肪酸の不飽和化</li> <li>13. 植物が乾燥に耐える仕組み 乾燥耐性 乾生植物</li> <li>14. 植物を使った環境浄化 バイオレメディエーション 金属耐性</li> <li>15. バイオ燃料 バイオアルコール バイオディーゼル バイオガス</li> <li>16. 期末試験 後半のまとめの試験を行います。</li> </ol>				
受講要件	特になし				
テキスト	特になし				
参考書	レーヴン/ジョンソン『生物学』(上巻)				
予習・復習について	出席確認を兼ねて毎回、小テストを実施するので復習を行う必要がある。				
成績評価の方法・基準	小テスト(50%)と期末試験(50%)の成績により評価する。				
オフィスアワー	月曜日 7・8時限 (2時25分～3時55分) を予定				
担当教員からのメッセージ	当講義により生命倫理の問題で話題に上っているゲノム編集法について正しく理解して欲しい。				

授業科目名	生物と環境 (Life and the Environment)				
担当教員名	天野 豊己 (AMANO Toyoki)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	総 721	
分担教員名					
クラス	学部共通 2	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	植物、環境応答、光合成、細胞、タンパク質				
授業の目標	多様な環境に生育している生物の環境応答の仕組みについて植物を中心に学び、生物の環境への適応戦略の仕組みを理解することで問題に対処するための考え方を身に付ける。				
学習内容	生物とその生きる環境、植物の身体づくりや細胞の構造、そして細胞内の分子の働きについて学ぶ。				
授業計画	回 内容 1 いろいろな生物の住む環境 2 日本の動植物 3 裸地から森林までの変化 4 群れと縄張り 5 食物連鎖 6 生物のからだ 7 細胞のづくり 8 酵素とタンパク質 9 細胞がエネルギーを得る仕組み 10 植物が太陽光からエネルギーを得る仕組み 11 免疫の仕組み 12 有性生殖と無性生殖 13 遺伝の規則性と遺伝子 14 生物の進化 15 生物と社会 (オンデマンド型によるオンライン授業)				
受講要件	特になし				
テキスト	テキストは特に指定しない。必要な資料は随時配布する。				
参考書	高校の基礎生物と生物の教科書				
予習・復習について	復習を中心にしっかりと授業内容の理解に努めて下さい。				
成績評価の方法・基準	試験もしくはレポートおよび提出物により評価する。				
オフィスアワー	訪問前にメールで問い合わせてください。天野宛： amano.toyoki@shizuoka.ac.jp				
担当教員からのメッセージ	生物学に興味を持ってくれたらと思います。				

授業科目名	富士山学 (Fujisan Sciences)				
担当教員名	徳岡 徹 (TOKUOKA Toru)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	理学部A棟 517	
分担教員名	小二田 誠二、山岡 拓也、小山 真人、石橋 秀巳、今泉 文寿、増澤 武弘				
クラス	学部共通 1	学期	後期		必修選択区分 ー
対象学年	2 年	単位数	2	曜日・時限	火 3・4
キーワード	富士山、世界文化遺産、自然、景観、植物、防災、水質、火山、生い立ち、旧石器時代				
授業の目標	富士山は、火山国日本の象徴的活火山であり、日本一の高さと容積を持つ。このような富士山は古くから人々を魅了し、様々な観点から富士山を見てきた。現代でも様々な分野で富士山は研究されている。この授業を受けることで、科学的側面と文化的側面の両方から富士山を深く理解し、これらの知識を自らの分野に活用することができるようになる。				
学習内容	理学的側面（植物学、地質学、防災学）、人文科学的側面（考古学、景観学）など多様な側面から富士山を学ぶ。				
授業計画	<p>回 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンスと総論：富士山に生きる生物－活火山と共に－（静岡大学客員教授、増澤武弘）</li> <li>2 富士山の上部高山帯、永久凍土とコケ植物（静岡大学客員教授、増澤武弘）</li> <li>3 富士山における植物の垂直分布 高山帯（静岡大学客員教授、増澤武弘）</li> <li>4 富士山における植物の垂直分布 亜高山帯・山地帯（静岡大学客員教授、増澤武弘）</li> <li>5 世界文化遺産と富士山の植物群落（静岡大学客員教授、増澤武弘）</li> <li>6 世界文化遺産の構成資産と富士山の自然（静岡大学客員教授、増澤武弘）</li> <li>7 眺める富士山：景観と表現（人文社会科学部、小二田誠二）</li> <li>8 植物の分類・系統と植物地理学（理学部、徳岡徹）</li> <li>9 富士山の植物相（理学部、徳岡徹）</li> <li>10 富士山の周辺地域の植物相（理学部、徳岡徹）</li> <li>11 富士山の水（理学部、宗林留美）（オンライン）</li> <li>12 富士山と土砂災害（農学部、今泉文寿）</li> <li>13 富士山と旧石器時代研究との関わり－愛鷹山麓における旧石器時代研究－（人文社会科学部、山岡拓也）</li> <li>14 富士山の生い立ち（理学部、石橋秀巳）</li> <li>15 富士山の噴火（理学部、石橋秀巳）</li> </ol>				
受講要件	特になし				
テキスト	特になし。必要に応じて各回の講義で資料を配布します。				
参考書	特になし。必要に応じて各回の授業で紹介します。				
予習・復習について	富士山に関する書籍を読み、予習復習して下さい。				
成績評価の方法・基準	授業担当者ごとに小レポートを課し、これによって評価します。				
オフィスアワー	訪問前にメール（徳岡宛：tokuoka.toru@shizuoka.ac.jp）で問い合わせてください				
担当教員からのメッセージ	日本の象徴でもある富士山は様々な分野で研究が行われています。富士山のある静岡県の大学生として、深く富士山を理解することは卒業後も様々な場面で役に立つはずですよ。				

授業科目名	初修外国語（ドイツ語）Ⅱ (German Ⅱ)				
担当教員名	大菌 正彦 (OZONO Masahiko)		所属等	学院院人文社会科学領域	
			研究室	人文A棟423	
分担教員名					
クラス	人2	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	水5・6
キーワード	ドイツ語、ドイツ文化、言語運用能力、多文化理解、文法				
授業の目標	読む・書く・聞く・話すという4技能のバランスに配慮して、ドイツ語の基礎的運用能力を身につける。また、英語以外の外国語を学ぶことで、文化を多角的に理解できるようになる。				
学習内容	前期の続きです。教科書の内容に沿って学習していきます。2回の授業で1課ずつ進めます。各課は、大きく「ダイアログ」「文法説明」「練習」「補足」から成ります。授業では、個々の項目ごとに練習、小テストなどを織り交ぜながら進めていきます。また、折に触れ、さまざまなドイツ事情についても紹介します。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>Lektion 7. Klaus steht morgens immer um neun auf.</li> <li>文法：分離動詞</li> <li>Lektion 8. Petra kann sehr gut Fußball spielen.</li> <li>文法：話法の助動詞</li> <li>Lektion 9. Lena hat auf der Party viel gelacht.</li> <li>文法：過去形・現在完了形</li> <li>まとめと復習(1)：Lektion 7-9, 中間試験(授業時試験)</li> <li>Lektion 10. Da wird eine neue Brücke gebaut.</li> <li>文法：受動態</li> <li>Lektion 11. Die Katze, die auf dem Sofa schläft, heißt Luna.</li> <li>文法：関係文</li> <li>Lektion 12. Wenn Emily eine Königin wäre, würde sie jeden tag Kuchen essen.</li> <li>まとめと復習(2)：Lektion 10-12, 今後の履修へ向けて(オンライン授業回)</li> <li>補足：zu不定詞句・分詞句, ドイツ語の日常表現</li> <li>期末試験</li> </ol>				
受講要件	クラス指定に従って履修してください。				
テキスト	大菌正彦『総合学習・異文化理解のドイツ語 改訂版』朝日出版社(2,500円+税)				
参考書	独和辞典は必携です。				
予習・復習について	授業1回あたり、2～3時間程度の授業外学習が前提です。				
成績評価の方法・基準	筆記試験の成績(80%)と平常点(20%)をもとに評価します。平常点は、原則として各課ごとに行う小テストの結果に授業への参加状況を加味して評価します。正当な理由なく3分の1以上欠席した場合は成績評価の対象外となります。				
オフィスアワー	金曜日昼休み				
担当教員からのメッセージ	後期から履修する人は、あらかじめ個人で教科書を購入してから受講してください。教科書は初回授業から使います。				



授業科目名	生物学Ⅱ（基礎B） (Biology II)				
担当教員名	栗井 光一郎 (AWAI Koichiro)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	総 713	
分担教員名	丑丸 敬史				
クラス	理MP	学期	後期		必修選択区分 選必
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	金 1・2
キーワード	ヒトゲノム、遺伝子治療、性淘汰、癌とタバコ、iPS細胞とクローン、遺伝子と寿命、脂質、機能性食品				
授業の目標	ニュースでとりあげられる生命科学の進展に関して十分な理解が得られ、説明できるようになる。				
学習内容	基本的な生物のしくみを理解した上で、生物学の進展とそれにより影響を受ける社会の問題を理解する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに（生命科学は面白い）</li> <li>2. 遺伝子、染色体、ゲノムとは</li> <li>3. ヒトのこんな行動まで遺伝子で決定されている</li> <li>4. 男と女（遺伝子が違えば行動も違う）</li> <li>5. ヒトゲノムが決定されると社会は、個人はどう影響を受けるか</li> <li>6. クローンと臓器移植（オンラインで実施）</li> <li>7. 癌とタバコ</li> <li>8. ヒトはなぜ老化して死ぬのか？現代科学で寿命をのばせるか</li> <li>9. コエンザイム Q10：呼吸の仕組み</li> <li>10. DHA, EPA：頭がよくなる脂肪酸</li> <li>11. こんにやくゼリー：本当にカロリーゼロ？</li> <li>12. コンドロイチン：軟骨に多い多糖類</li> <li>13. セラミド：保湿剤？細胞死誘導？</li> <li>14. バイオ燃料：エネルギー問題の切り札となるか</li> <li>15. 植物の必須元素：植物肥料は何のため？</li> </ol> <p>1～8：丑丸担当、9～15：栗井担当</p>				
受講要件	生物学Ⅰを受講していることが望ましい。				
テキスト	丑丸：『科学でわかる男と女の心と脳』（麻生一枝）電子書籍				
参考書					
予習・復習について	予習・復習としてテキストおよびプリントをよく読んでおく。				
成績評価の方法・基準	毎回行う小テスト、中間テストおよび期末テスト。				
オフィスアワー	丑丸：特に定めないが、午後が比較的時間がとりやすいと思います。 来る前に連絡をいただければ助かります。 栗井：月曜7・8時限を予定				
担当教員からのメッセージ	質問を活発にして欲しい。				

授業科目名	書道研究 (Study of Calligraphy)				
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	学術院教育学領域	
			研究室	教育学部A棟602	
分担教員名					
クラス	国語	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	火7・8
キーワード	臨書、倣書、創作、書風、書体				
授業の目標	書写としての楷書・行書以外の書道史上の代表的な楷書・行書と草書、隸書、篆書（五書体）の古典および仮名古筆を取り上げて鑑賞し、それらの臨書と創作を行って意図に基づいた表現としての「書」と「漢字かな交じりの書」を書くことができる。				
学習内容	書の鑑賞学習を行い、用筆を理解したうえで古典を臨書する。続いて創作の導入として倣書を学び、臨書能力の定着も図る。ここでは既習の楷書・隸書・篆書に行書・草書を加えた代表的古典の倣書を取り上げた後、段階的に創意を加えていく。仮名古筆については、単体・連綿・変体仮名等を学習して、臨書と散らし書きについて学ぶ。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 楷書古典（初唐）の臨書 九成宮醴泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教序、自書告身他</li> <li>2 楷書古典（初唐）の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>3 楷書古典（北魏）の臨書 造像記（方筆）、鄭義下碑（円筆）</li> <li>4 楷書古典（北魏）の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>5 行書・草書古典の臨書 蘭亭序、風信帖、書譜、千字文</li> <li>6 行書・草書古典の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>7 隸書・篆書古典の臨書 曹全碑、乙瑛碑、礼器碑、泰山刻石、石鼓文</li> <li>8 隸書・篆書古典の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>9 漢字一字書きの初歩的創作 書の「造形性」「流動性」「時間性」などを意識する</li> <li>10 漢字かな混じりの文の初歩的創作 意図に基づく表現</li> <li>11 自由素材による創作</li> <li>12 仮名の基本（単体、連綿、変体仮名）</li> <li>13 仮名の臨書、創作（ちらし書き）高野切第三種、寸松庵色紙など</li> <li>14 条幅作品創作</li> <li>15 書道実技のまとめ（裏打ち・表装等を含む）</li> </ol>				
受講要件					
テキスト	『書の古典と理論 改訂版』全国大学書道学会編（光村図書発行）ISBN978-4-8138-0266-2(2021 発行)				
参考書	『中国書法選』（二玄社）（例／『20 龍門二十品＜上＞978-4-544-00520-2）他、書道室にあります。				
予習・復習について	学習内容が多いので、書道室の空き時間に行い、鑑賞カードと共に提出できるようにしておく。授業後（火曜5コマ）は別の授業が入っていて書道室を使えないため、午前中や他の曜日に取り組むこと。				
成績評価の方法・基準	授業時間内の課題、また最終課題への取組みと制作物の内容				
オフィスアワー	後期火の2コマまたは昼休みに対応、教育A602（研究室）に直接または Teams のメッセージ機能を利用してください。				
担当教員からのメッセージ	沢山の古典についての実技指導を半期でやる関係上、必要に応じて課題を出しますが、空いている時間に書道室を使う等して書いてくれれば、その都度、添削などでサポートします。高等学校の書道教員には必須のことなので制作した作品の展示も考えています。				

授業科目名	書道研究 (Study of Calligraphy)				
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	学術院教育学領域	
			研究室	教育学部A棟602	
分担教員名					
クラス	B組	学期	後期		必修選択区分 選択
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	火1・2
キーワード	臨書、倣書、創作、書風、書体				
授業の目標	書写としての楷書・行書以外の書道史上の代表的な楷書・行書と草書、隸書、篆書（五書体）の古典および仮名古筆を取り上げて鑑賞し、それらの臨書と創作を行って意図に基づいた表現としての「書」と「漢字かな交じりの書」を書くことができる。				
学習内容	書の鑑賞学習を行い、用筆を理解したうえで古典を臨書する。続いて創作の導入として倣書を学び、臨書能力の定着も図る。ここでは既習の楷書・隸書・篆書に行書・草書を加えた代表的古典の倣書を取り上げた後、段階的に創意を加えていく。仮名古筆については、単体・連綿・変体仮名等を学習して、臨書と散らし書きについて学ぶ。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 楷書古典（初唐）の臨書 九成宮醜泉銘、孔子廟堂碑、雁塔聖教序、自書告身他</li> <li>2 楷書古典（初唐）の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>3 楷書古典（北魏）の臨書 造像記（方筆）、鄭義下碑（円筆）</li> <li>4 楷書古典（北魏）の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>5 行書・草書古典の臨書 蘭亭序、風信帖、書譜、千字文</li> <li>6 行書・草書古典の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>7 隸書・篆書古典の臨書 曹全碑、乙瑛碑、礼器碑、泰山刻石、石鼓文</li> <li>8 隸書・篆書古典の倣書 前時の古典を生かす</li> <li>9 漢字一字書きの初歩的創作 書の「造形性」「流動性」「時間性」などを意識する</li> <li>10 漢字かな混じりの文の初歩的創作 意図に基づく表現</li> <li>11 自由素材による創作</li> <li>12 仮名の基本（単体、連綿、変体仮名）</li> <li>13 仮名の臨書、創作（ちらし書き）高野切第三種、寸松庵色紙など</li> <li>14 条幅作品創作</li> <li>15 書道実技のまとめ（裏打ち・表装等を含む）</li> </ol>				
受講要件					
テキスト	『書の古典と理論 改訂版』全国大学書道学会編（光村図書発行）ISBN978-4-8138-0266-2(2021 発行)				
参考書	『中国書法選』（二玄社）（例／『20 龍門二十品<上>978-4-544-00520-2）他、書道室にあります。				
予習・復習について	学習内容が多いので、書道室の空き時間に行い、鑑賞カードと共に提出できるようにしておく。授業後（火曜5コマ）は別の授業が入っていて書道室を使えないため、午前中や他の曜日に取り組むこと。				
成績評価の方法・基準	授業時間内の課題、また最終課題への取組みと制作物の内容				
オフィスアワー	後期火の2コマまたは昼休みに対応、教育A602（研究室）に直接または Teams のメッセージ機能を利用してください。				
担当教員からのメッセージ	沢山の古典についての実技指導を半期でやる関係上、必要に応じて課題を出しますが、空いている時間に書道室を使う等して書いてくれれば、その都度、添削などでサポートします。高等学校の書道教員には必須のことなので制作した作品の展示も考えています。				

授業科目名	書写研究 (Japanese Handwriting (Semi-cursive Style))				
担当教員名	杉崎 哲子 (SUGIZAKI Satoko)		所属等	学術院教育学領域	
			研究室	教育学部A棟602	
分担教員名					
クラス	B組	学期	後期		必修選択区分 選択
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	火9・10
キーワード	行書、字形、筆使い、行書に調和する仮名				
授業の目標	行書の特徴、用筆法を理解して正しく整えて速く書くことができる。また、行書に調和する仮名についても特徴と用筆を理解して書くことができる。さらに、これらの学習を生活の中で生かすことができる。				
学習内容	「書写基礎」の内容をふまえ行書の基礎的知識とあわせて、実技（毛筆）を中心として行書と行書に調和する仮名の特質を分析的に学習する。楷書の基本が習得されていない場合は授業の内容を理解しにくいことが予想されるので、受講生は楷書の技法を充分復習しておく必要がある。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 行書の基本的な筆使いと基本点画の書き方</li> <li>2 行書の筆使い：点画の曲線化（転折部分の円み）</li> <li>3 行書の筆使い：基本点画（楷書との違いを明確にする）</li> <li>4 行書の特徴：終筆の変化「払いがとめになる」「とめがはねになる」など</li> <li>5 行書の特徴：点画の変化「右払いが長点になる」「短い左払いが横画になる」（方向の変化）等</li> <li>6 行書の特徴：点画の連続（筆脈の実線化）</li> <li>8 行書の特徴：点画の連続（直接連続）</li> <li>9 行書の特徴：点画の省略（へん、かんむりを中心に）</li> <li>10 行書の特徴：筆順の変化</li> <li>11 行書に調和する仮名</li> <li>12 漢字かな交じり文</li> <li>13 配置・配列、ちらし書き</li> <li>14 日常に生かす（手紙文）、メモ書き</li> <li>15 国語科書写における行書学習のまとめ（評価を含む）</li> </ol>				
受講要件	「書写基礎」を受講済であること				
テキスト	『国語科書写の理論と実践』全国大学書写書道教育学会（萱原書房） ISBN978-4-86012-102-0(2020 発行)				
参考書	中学校国語科書写検定教科書				
予習・復習について	対面授業の前後に、指定するノートに、学習内容を確認し筆ペンで書く課題に取り組む。ここには適宜、補助線を付す。				
成績評価の方法・基準	授業内での課題（毛筆・硬筆）の内容及び筆記試験（20%反映させる）による。実技科目であるため、欠課時数が多い場合は、基本的には単位は認められない（事情がある場合も補習などの対応を要する）。				
オフィスアワー	火曜昼休みまたは、オンライン（Teams のチャット機能を使用）				
担当教員からのメッセージ	空いている時間に書道室を使う等して書いてくれば、その都度、添削などでサポートします。				

授業科目名	植物生化学 (Plant biochemistry)				
担当教員名	天野 豊己 (AMANO Toyoki)		所属等	大学院理学領域	
			研究室	総 721	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	2年	単位数	2	曜日・時限	月 3・4
キーワード	タンパク質、葉緑体、光合成、分子シャペロン、膜透過、老化、過敏反応				
授業の目標	植物のタンパク質合成および分解の分子機構を、発生および分化、老化と合わせて総合的に理解する。				
学習内容	光化学系の構造と機能、その構築機構、膜透過装置の作用機構などについて、タンパク質の立体構造とその機能変化の視点から解説を行う。これらのタンパク質複合体が形成する上で重要な分子シャペロンの作用機構および膜透過に関与するトランスロケーターについて解説する。また植物の老化および病原菌への作用機構など、生理学的に興味深い現象についても解説を行う。				
授業計画	<p>回 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 光合成装置の概説</li> <li>2 光化学系 II</li> <li>3 シトクロム b6f 複合体と Q サイクル</li> <li>4 光化学系 I</li> <li>5 FoF1-ATP 合成酵素</li> <li>6 膜タンパク質の分類</li> <li>7 膜タンパク質の分析方法</li> <li>8 分子シャペロン I 型</li> <li>9 分子シャペロン II 型</li> <li>10 膜透過装置の種類</li> <li>11 膜透過装置の輸送機構</li> <li>12 葉緑体の膜透過装置</li> <li>13 葉緑体におけるタンパク質分解</li> <li>14 植物の老化過程の分子機構</li> <li>15 植物におけるプログラム細胞死 (オンデマンド型によるオンライン授業)</li> </ol>				
受講要件	植物の生化学およびタンパク質科学について興味があること				
テキスト	主としてプリントを配布する。				
参考書	植物の生化学・分子生物学 (学会出版センター、ISBN 9784762230400)、 細胞の分子生物学 (Newton Press、ISBN 9784315520620)、 ヴォート 生化学 (上下) 第4版(東京化学同人、ISBN 9784807908073 (上)、ISBN 9784807908080 (下)) など				
予習・復習について	しっかり行って下さい。				
成績評価の方法・基準	特別な事情のない限り 2/3 以上の出席を評価対象とし、成績評価は期末試験で判断します。				
オフィスアワー	訪問前にメール(amano.toyoki@shizuoka.ac.jp)で連絡を下さい。				
担当教員からのメッセージ	積極的に取り組んで下さい。				



授業科目名	複素解析学 I (Complex Analysis I)				
担当教員名	足立 真訓 (ADACHI Masanori)		所属等	学術院理学領域	
			研究室	理 C613	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	水 7・8
キーワード	解析接続、リーマン面、等角写像、リーマンの写像定理、楕円関数				
授業の目標	解析接続による正則関数の多価性をリーマン面により説明できる。一次分数変換など基本的な等角写像を把握し、リーマンの写像定理の意義を理解する。				
学習内容	<p>正則関数を解析接続することで、多価な関数が自然に現れます。リーマンは、多価関数を一価な関数として取り扱うため、リーマン面の概念を導入しました。リーマン面を具体的に書き現わすために、与えられた領域の間の正則な全単射を必要とすることがあります。正則な全単射は等角性を満足し幾何学においても重要です。等角写像論の基本定理である「複素平面内の単連結領域（ただし全平面を除く）は、常に単位円板と等角同値になる！」という驚くべきリーマンの写像定理を学びます。</p> <p>本学科における複素解析学の授業は四部から成っています。第一部は「関数論入門」、第二部は「複素解析学」、第三部は「複素解析学 I」、第四部は「複素解析学 II」です。第三部では、リーマン面の理論、等角写像論、楕円関数論に入門し、数学の諸分野との関わりを概観します。</p>				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 解析接続</li> <li>2. 直観的なリーマン面</li> <li>3. リーマン面</li> <li>4. リーマン球面とジュコフスキー変換</li> <li>5. 等角写像</li> <li>6. 一次分数変換</li> <li>7. 複比とケーリー変換</li> <li>8. リーマンの写像定理の主張</li> <li>9. リーマンの写像定理の証明①：証明の方針</li> <li>10. リーマンの写像定理の証明②：最大化関数の性質</li> <li>11. リーマンの写像定理の証明③：最大化関数の存在証明</li> <li>12. 正規族</li> <li>13. シュワルツ・クリストッフェル積分</li> <li>14. 楕円積分</li> <li>15. 楕円関数入門（試験期間中に実施）</li> </ol>				
受講要件	「関数論入門」及び「複素解析学」を受講していることが望ましい。				
テキスト	テキストは指定しない。				
参考書	高橋礼司『基礎数学 8 [新版] 複素解析』東京大学出版会（1990）ISBN: 978-4130621069 大沢健夫『現代複素解析への道標』現代数学社（2017）ISBN: 978-4768704806 アールフォールス『複素解析』現代数学社（1982）ISBN: 978-4768701188 スタイン・シャカルチ『プリンストン解析学講義 II 複素解析』日本評論社（2009）ISBN: 978-4535608924				
予習・復習について	毎回の授業内容を踏まえ、よく分からなかった部分の細部を検討する等、復習を行なってください。また、興味を持った話題について、参考書を読む、インターネットで文献を探して読む等、主体的な学習を行なってください。対面授業以外の時間でもオンラインでの質問を随時歓迎します。				
成績評価の方法・基準	レポート 100%により、授業の目標に掲げた重要事項を把握しているかを評価する。試験は実施しない。				
オフィスアワー	Teams によりオンラインでの質問を随時受け付けます。対面での質問は短いものであれば授業中や授業の前後に受け付けますが、研究室での面談も歓迎です。その場合、Teams またはメールで面談予約して下さい。				
担当教員からのメッセージ					

授業科目名	生物学Ⅱ (Fundamental Biology II)				
担当教員名	徳元 俊伸 (TOKUMOTO Toshinobu)		所属等	創造科学技術研究部	
			研究室	総合研究棟 625 室	
分担教員名					
クラス	理学専門科目	学期	後期		必修選択区分 ー
対象学年	1 年	単位数	2	曜日・時限	金 1・2
キーワード	細胞膜、代謝、ゲノム、遺伝子発現、発生、がん、進化				
授業の目標	生物学は分子生物学的理解により急速に進歩し、複雑化してきている。その一方で、ゲノム情報を基盤とした分子レベルでの研究成果は生物の統合的な理解をもたらした。本講義では生物現象を進化論的に説明することを基本コンセプトに編集された教科書を題材に現代生物学の概略を理解する。				
学習内容	現代生物学の概略について理解する。				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 生物学とは？ダーウィンの進化論を例とした科学的探求の方法 生物の4つの特徴</li> <li>2 DNA：遺伝物質 DNA の3次元構造 半保存的複製 1遺伝子/1ポリペプチド説</li> <li>3 遺伝子とその働き方 遺伝子発現のセントラルドグマ 転写 翻訳</li> <li>4 遺伝子発現の調節 転写因子による調節 DNA 結合モチーフ オペロン</li> <li>5 真核生物における転写調節 エンハンサー クロマチン構造による調節 転写後調節</li> <li>6 遺伝子組換え技術 制限酵素 プラスミドとフェージベクター cDNA ライブラリー</li> <li>7 遺伝子組換え技術2 PCR法 スクリーニング サザンブロッティング</li> <li>8 遺伝子組換え技術3 DNA フィンガープリント バイオテクノロジー 遺伝子組換え作物</li> <li>9 ゲノム ゲノムの配列決定 サンガー法 次世代シーケンサー</li> <li>10 ゲノム2 トランスポゾン シンテニー解析 トランスクリプトーム解析</li> <li>11 がんの生物学と細胞操作技術1 突然変異 遺伝子の移動 不等乗換え DNA 修復</li> <li>12 がんの生物学と細胞操作技術2 がんと細胞周期 原がん遺伝子 がん抑制遺伝子</li> <li>13 がんの治療 がん治療の標的 幹細胞 iPS細胞</li> <li>14 進化の証拠 ダーウィンフィンチ 工業暗化 人為選択 化石記録</li> <li>15 種の起源 生物学的種概念 接合前隔離機構 地理的隔離 断続平衡説 (オンデマンド型授業)</li> <li>16 試験</li> </ol>				
受講要件					
テキスト	レーヴン/ジョンソン 生物学、培風館、 P.レーヴン/G.ジョンソン/J.ロス/S.シンガー著 6,400円(生協で販売) ISBN4-563-07796-8 2008年				
参考書	必要があればそのつど紹介する。				
予習・復習について	出欠の代わりとして、前回の復習を兼ねた小テストをするので、予習・復習を必ず行うこと。				
成績評価の方法・基準	対面授業が可能となった場合は出席確認を兼ねて毎回、復習のための小テストを実施する(50%)。この小テストと本試験1回(50%)の成績を合計して理解度を評価する。				
オフィスアワー	月曜日7-8時限を予定				
担当教員からのメッセージ	本講義を履修することにより動物の発生の分子機構の概略とその共通性と多様性が理解できるようになると期待している。				

授業科目名	地域連携論 (Theory of Regional Collaboration)				
担当教員名	阿部 耕也 (ABE Koya)		所属等	地域創造教育センター	
			研究室	地域創造教育センター	
分担教員名					
クラス	人文専門	学期	後期		必修選択区分
対象学年	1年	単位数	2	曜日・時限	集中
キーワード	大学-地域連携、地域資源と地域課題、共創プラットフォーム				
授業の目標	地方創生・地域の再生は喫緊の現代的課題となっており、その中で、地域と大学がどう関わるか、連携・協働をどのように仕組めるか、地域と大学が互いにどんな成果を得られるのかを検討することは、大学において研究上の、また実践的な課題となっている。本授業では、地域連携・地域貢献に関する種々のプロジェクトや様々な取り組み事例を紹介しながら、地域-大学連携・協働を生み出すための具体的方策学ぶことを目的とする。				
学習内容	国・地方公共団体のレベルのみならず、地域コミュニティのレベルにおいても、地方創生や地域の再生が中心的な課題となっている。そのさい、地域の様々な主体がどのようにつながり、関係し合っているか、そのあり方を分析し、再構築するための視点や手法が重要となってくる。そうした局面における様々な取り組み事例を取り上げながら、学生として、大学関係者として、実践的に地域に関わる姿勢や技法を学ぶ。授業内で大学と地域の連携に携わる代表者を招いた公開シンポジウムを開催する予定である。				
授業計画	<p>オンライン（同時双方向型）で実施予定</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代的課題としての地方創生・地域再生における域学連携の意義</li> <li>2 地域-大学連携の考え方</li> <li>3 地域社会が抱える課題と諸要因</li> <li>4 地域社会がもつ資源の様々とその保存・活用</li> <li>5 大学機能の開放・拡充と地域との連携の在り方を考える</li> <li>6 大学の3機能（教育・研究・社会連携）の拡充における地域社会の役割</li> <li>7 地域と大学との連携方法</li> <li>8 地域と大学が連携・協働するためのプラットフォーム</li> <li>9 地域課題・地域資源に対応した域学連携プロジェクトの事例</li> <li>10 自治体職員から地域の現状と課題、可能性を学ぶ</li> <li>11 NPO等の関係者から地域の現状と課題、可能性を学ぶ</li> <li>12 地域活性化プロジェクトの実際</li> <li>13 地域連携・社会貢献活動に関するワークショップ①</li> <li>14 地域連携・社会貢献活動に関するワークショップ②</li> <li>15 事業提案の報告とディスカッション</li> </ol>				
受講要件					
テキスト					
参考書	藤本穰彦『まちづくりの思考力:暮らし方が変わればまちが変わる』実生社、2020				
予習・復習について					
成績評価の方法・基準	出席 50%、レポート 30%、授業内シンポ・ワークショップの対応 20%という目安で総合的に評価する。				
オフィスアワー	木曜 13:30~14:00				
担当教員からのメッセージ					

授業科目名	ロックとアートからみるメンタルヘルス (Rock, Art and Mental Health)				
担当教員名	太田 裕一 (OTA Yuichi)		所属等	保健センター	
			研究室	工学部7号館3F	
分担教員名					
クラス	情工	学期	後期		必修選択区分 選択
対象学年	3年	単位数	2	曜日・時限	金3・4
キーワード	ロック、現代アート、メンタルヘルス、臨床心理学、精神医学、歴史学、宗教学、哲学、民俗学、サブカルチャー				
授業の目標	学生がロック、現代アートなどを通じて精神障害やメンタルヘルスに関する基本的な知識を身につけられるようになること。情報の氾濫した社会の中で、ロックやアートの歴史を振り返ることで歴史的な流れを理解することの重要性を知ること。ロック、現代アートの持つ批判的精神について学ぶこと。				
学習内容	<p>現代アート作品を紹介し、ロックの歴史をたどりながら、関連する精神疾患について解説します。</p> <p><b>過去の講義で取り上げたミュージシャン</b>：シド・バレット、ソフト・マシーン、キング・クリムゾン、ジェネシス、ヴェルヴェット・アンダーグラウンド、パティ・スミス、ラモーンズ、ジミ・ヘンドリックス、ジャニス・ジョプリン、ザ・ドアーズ、ジェファーソン・エアプレーン、ビートルズ、ローリング・ストーンズ、キンクス、ザ・フー、ボブ・ディラン、ディープ・パープル、レッド・ゼッペリン、ブラック・サバス、セックス・ピストルズ、ダムド、クラス、コンフリクト、MC5、デッド・ボーイズ、ストゥージーズ、ニルヴァーナ、マリリン・マンソン、ブラインド・メロン、ティム&amp;ジェフ・バックリー、村八分、モップス、はっぴいえんど、外道、フリクション、スターリン、ちえるしい、筋肉少女帯、ヒカシュー、GISM、amazarashi、初音ミク。</p> <p><b>アーティスト(ジャンル)</b>：John Hathway、草間彌生、石井徹也、松井冬子、会田誠、山口晃、村上隆、カイカイキキ、近藤聡乃、やなぎみわ、球体関節人形、金子國義、谷川俊太郎、寺山修司、浮世絵、アウトサイダー・アート、岡本太郎、ヘンリー・ダーガー、アンディ・ウォーホル、ニキ・ド・サンファル、バルテュス、妖精画。</p> <p><b>メンタルヘルスの話題</b>：統合失調症、うつ病性障害、双極性障害、PTSD、アルコール依存症、薬物依存、DV、自閉スペクトラム症、ADHD、性別違和。</p>				
授業計画	<p>01. ロックミュージックのルーツ 02. ロックと破壊、人間の攻撃性 03. サイケデリック・ミュージックと意識の拡大 04. ドラッグ、ヒッピー、人間潜在力開放運動 05. 統合失調症と幻聴という体験 06. ベトナム戦争とPTSD 07. グラムロックと両性具有 08. アウトサイダー・アートと精神疾患</p> <p>09. ロックと反社会性、パンクロックの起源 10. ニューウェーブ ゴシックとグロテスク 11. ハードコアパンクと暴力、ドメスティックバイオレンス 12. 自閉スペクトラム障害 サヴァン症候群 13. 摂食障害 自傷と自己肯定感 14. 人形とフランケンシュタイン 15. 人間の心のレジリエンス</p> <p>タイトルは仮題です。受講者から学びたい精神疾患や心理的問題について募り、なるべくそれらにふれながら進める予定です。</p>				
受講要件	ロックを爆音で聞ける人。とりあげる現代アートには性的なものやグロテスクなものが含まれるのでそれに耐えられる人。				
テキスト	特になし。				
参考書	久能徹・太田裕一「史上最強図解 よくわかるフロイトの精神分析」(ナツメ社)				
予習・復習について	毎回ミニレポートを課すので、講義で取り扱ったテーマなどを復習する必要があります。				
成績評価の方法・基準	毎回、Microsoft Teams のチャットで200字以上のミニレポートを提出します。ミニレポートの内容は講義の感想や、課題です。ミニレポートの代わりに Teams の専用チャンネルでお気に入りの音楽、アートを紹介してくれてもかまいません。毎回のミニレポートと最終レポート(2000字以上。ロックまたはアート作品についてメンタルヘルスにからめて論じる)で評価します。評価はミニレポート、最終レポート、講義への積極的な参加によって行います。評価比率は5:4:1です。最終レポートを提出できるのはミニレポートを10回以上提出した人に限ります。講義への積極的な参加は、講義中のチャットによる発言、イラスト、自作音楽、「歌ってみた」、「演奏してみた」などの投稿、twitter 実況等によって評価します。				
オフィスアワー	質問等は随時 Microsoft Teams のチャットを使用してください。				
担当教員からのメッセージ	ミニ・レポートでリクエストアーティスト及びリクエスト曲を募って講師が弾き語りを行います。twitter 実況の公式ハッシュタグは #mentalrock の予定。ロック・現代アート・メンタルヘルスなどに興味ある方の積極的な参加を期待します。				

# 8 払込取扱票 記入例

払込取扱票											
口座記号		口座番号 (右列で記入)				金額					
008404		98725				〇〇〇〇〇					
加入者名 静岡大学											
科目 市民開放授業											
9,700円× □件= ●●●●●円 科目番号 ■■, ■■, ■■											
合計 〇〇,〇〇〇円											
〒△△△-△△△△											
△△△△△ △△△△△△△△											
お名前 △△△△△											
(ご連絡先電話番号 △△△-△△△-△△△△)											
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) これより下部には何も記入しないでください。											

振替払込請求書兼受領証											
口座記号		口座番号 (右列で記入)				金額					
008404		98725				〇〇〇〇〇					
加入者名 静岡大学											
金額 〇〇,〇〇〇円											
お名前 〇〇〇〇〇											
ご依頼人 〇〇〇〇〇											
日附印											
料金額											
備考											

- (注意) ①赤文字の箇所にご記入ください。  
 ②各授業の科目番号および受講料は、「市民開放授業科目一覧」(P19)に記載されています。

## ■記入上の注意

- ◇受講する科目数を□に記入し、受講料と掛け合わせた金額を●部分にご記入ください。
- ◇「市民開放授業科目一覧」を参考に、受講する科目の科目番号(左列)を■部分にご記入ください。複数ある場合は、「,」「,」「,」などで区切ってください。
- ◇算出した合計金額を○部分にご記入ください(3箇所)。計算が間違っていないか、必ずご確認ください。
- ◇△部分にご自分の郵便番号、住所、お名前をご記入ください。記入がないと、どなたからの入金かわかりませんので、忘れずにご記入をお願いいたします。
- ◇振替払込請求書兼受領証は、受講証が届くまでなくさないように保管してください。





## 2023年度（後学期）静岡大学市民開放授業 受講申込書

国立大学法人 静岡大学長 殿

※裏面の注意事項を必ず確認し、身分証明の写しを貼付すること →

住 所	〒 ー	
ふりがな		性別(どちらかに○) 男・女
氏 名	⑩	
生 年 月 日	(西暦) 年 月 日 ( 歳)	
電 話	(携帯)	(自宅)
E - m a i l	(フリガナ)	
メールアドレスをお持ちの方は必ずご記入ください。未記入の場合はメールが届きません。	(メールアドレス)	※英数字等区別しにくいものは丁寧に書きください(例:「0」(ゼロ)と「o」(オー)、「1」(イチ)と「l」(エル)など)。 ※休講等の連絡をメールで送信しますが、他に学生向け情報も配信されますので、あらかじめご了承ください。 ※携帯メールの方は大学からのメールが受信できるように設定をしてください(発信アドレス:gakujo@adb.shizuoka.ac.jp)
職 業	会社員・自営業・無職・主婦・学生・その他 ( )	
最 終 受 講 歴	2023年度前学期 ・ それ以前 ・ 初めて (あてはまるもの1つに○)	
静大eduroam ゲスト用アカウント発行	要 ・ 不要 ※キャンパス内での無線LAN利用には静大eduroamゲスト用アカウントによる接続設定が必要です。 無線LANの利用を希望する方は 要 に○をおつけください。	

※承認印をもらう前に、市民開放授業科目一覧に掲載されている科目番号と受講科目を正確に記入してください。

科目番号	受講科目	担当教員氏名	授業曜日・時限	担当教員承認日	担当教員承認印 (またはサイン)
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	
			曜日 時限	/	

上記授業科目を受講したいので、裏面の注意事項に同意のうえで、申し込みます。

以下大学側記入欄

受講の登録受付日	講習料の納付日	受講証の交付	
		(受講証番号)	(交付日)
		(学籍番号)	

(注) 受講生の個人情報に関しては、細心の注意を払い、市民開放授業の申込みの確認、市民開放授業に関する連絡、今後の大学の市民向け事業のご案内に利用させていただきます。

## 注意事項

市民開放授業の受講生は、受講にあたり、以下のことを遵守してください。  
また、このことにご同意いただける場合のみ、受講をお申し込みください。

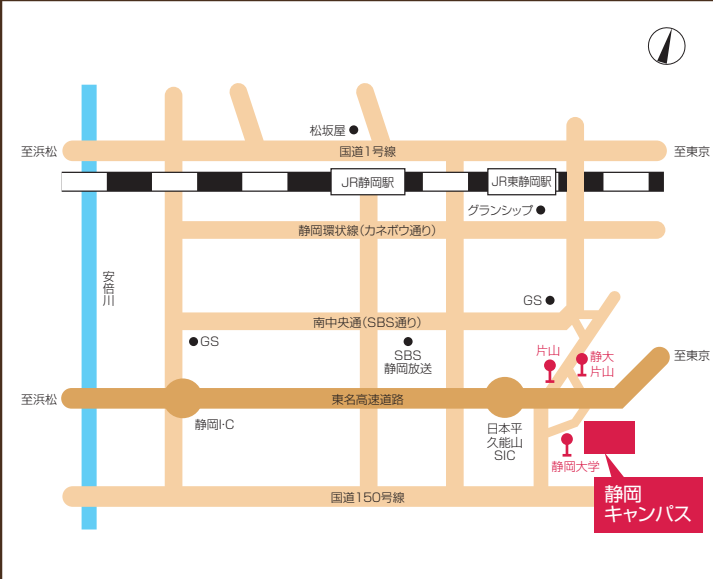
- 一、 受講にあたり、静岡大学が行う教育、研究活動、及び事務運営に支障が及ぶことがないようにするとともに、教職員の指示に従う。
- 一、 前項に反し、受講生としてふさわしくない言動及び静岡大学の秩序を乱す行為があった場合は、受講を停止されても甘受する。その場合、納入した講習料の返還を要求しない。
- 一、 静岡大学の施設、設備等を故意又は不注意により破損したときは、その損害を賠償する。

以上

身分証明貼付欄（氏名、現住所が確認できるものであること）

## ■静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・グローバル共創科学部・地域創造学環  
〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷 836

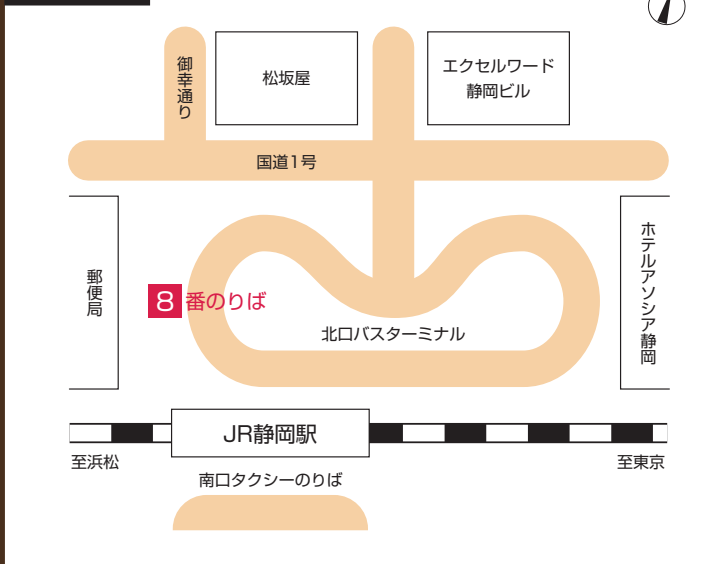


## ■浜松キャンパス

情報学部・工学部  
〒432-8011 静岡県浜松市中区城北 3-5-1

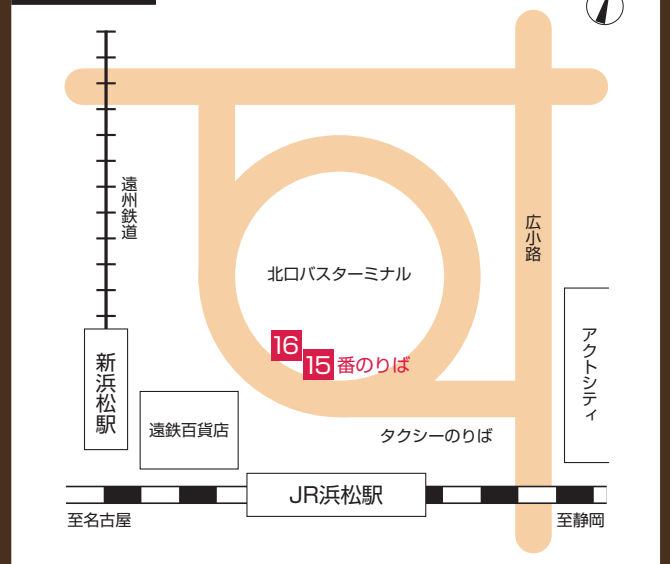


### バス停案内図



1. JR静岡駅北口しずてつジャストラインバス8番乗り場から、「静岡大学」または「東大谷」、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行きに乗り、「静岡大学」または「静大片山」バス停下車(所要時間約25分、1時間に5~7本運行)。\*静岡駅午後発の「東大谷」行きバスは「静岡大学」バス停を経由しないため、「片山」バス停で降りてください。「片山」と「静大片山」バス停は位置が異なりますのでご注意ください。
2. JR静岡駅からタクシーで約15分。

### バス停案内図



1. JR浜松駅北口バスターミナルより、遠州鉄道バス15番または16番乗り場から乗り(全路線)、「静岡大学」バス停下車(所要時間約20分、1時間に10本程度運行)。
2. JR浜松駅からタクシーで約10分。

## 静岡大学地域創造教育センター Education Center for Regional Development

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

TEL: 054-238-4817 [平日9:30~16:00(10/2~10/16のみ、9:30~16:30)] FAX: 054-238-4295

E-mail: kaiho@suml.cii.shizuoka.ac.jp <https://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>